



今できる 地域の見守り・助け合い ～みんなの知恵で新しいつながいを！～

※令和2年度 地域福祉セミナー・地域福祉委員会活動推進会議合同開催

実行主体：第3次能美市地域福祉活動計画 見守り・助け合い推進委員会
社会福祉法人能美市社会福祉協議会

日時：2月21日（日） 10時10分～12時

会場：寺井地区公民館 大ホール



内容 第3次能美市地域福祉活動計画「見守り・助け合い推進委員会」では、地域ぐるみの見守り活動の活性化や、地域住民ができる日常生活の助け合い活動の拡充について協議してきました。報告会では、講師の井岡仁志氏よりオンラインで、地域に求められる取り組みについて講演をいただき、福岡町からはいきいきサロンの開催に至るまでの経過、泉台町からはコロナ禍の中での見守り活動について、それぞれの事例発表がありました。

今後に向けて

コロナ禍の今だからこそ、私たちはつながることの大切さを実感し、新しい見守りの方法や、つながり合うためのいろいろな工夫を生みだしてきました。いきいきサロンの開催に向け話し合いを繰り返した福岡町や、コロナ禍の中での状況の変化や困りごとを調査した泉台町などの工夫を知り合い、学び合い、これからも、それぞれの町にあった見守りや助け合いの活動を進めることが大切だと確認し合いました。



ローカリズム・ラボ 井岡仁志氏
オンライン Zoom による基調講演
～つながるためにできること～
地域に求められるつながりを切らない取り組みや
生活課題を解決する取り組みについて講演



① 福岡町：いきいきサロンの再開に至るまで・・・
前田委員（福祉推進員）
清見委員（根上あんしん相談センター）
② 泉台町：コロナ禍での見守り活動の実際について
生田民生委員・児童委員

参加者の感想（一部抜粋） 参加者：60名

- ・地域、住民主体によるセーフティネットが大事であること、コロナ禍、災害時においても、日頃の地域での顔の見える関係での見守り助け合いが土台になることを感じました。
- ・各地域の活動の様子が見える様な場所がもっとあったら良いと思います。
- ・困り事をいかに引き出すか、地域の人々がどのような事で困っているかを把握する工夫が大切。
- ・事例紹介、福岡町、泉台町、コロナ禍で大変な中でも活動している事がすばらしいと思いました。
- ・顔の見えるご近所での、お互い様の気かけ合い、見守り、支え合いについて今から話し合いたい。